

主な内容

各部・委員会報告
各ブロック活動報告
令和八年度
全国大会―予定―



会報

全国国公立幼稚園・こども園長会

質の高い幼児教育の推進に向けて ―令和七年度を振り返って―

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 高橋 慶子



全国国公立幼稚園・こども園長会の皆さま、令和七年度のご協力に心より感謝申し上げます。

本年度、国公幼が掲げたテーマは「質の向上」。まさにこの一年は、会員の皆様、お一人おひとりの実践が結びつき、国公幼全体として、質の高い幼児教育を体現する年となりました。

◇二つの全国大会の爽りとブロック大会
まず、大分大会（総会・研究大会）、そして東京大会（教育研究協議会）という、国公幼を代表する二つの全国大会においては、準備・運営にあたってくださった先生方、各地から集った園長先生方の力が見事に結集し、内容の濃い充実した大会となりました。

来年度は岩手大会と愛知大会です。運営費については、大会費を参加費でまかなう形にし、参加者が多く集うことで運営の健全性と学びの質の両立を図る方向です。皆様が意識を高くもち、参集して情報を共有しながら学びを深め、専門性を高めていくことが重要です。ぜひご参加のほどよろしくお願いたします。

また、東北北陸・九州・近畿などの各ブロック大会においても、国公幼は、地域を超えて学び合える、全国の学び舎であることを、改めて実感することができました。

◇持続可能な組織運営
全国キャンペーン研修会は二年に一度、ブロック大会は隔年開催とする基本方針、ブロック再編、それぞれのブロックの実情や、会員の皆様のご負担を考慮したものです。今後は、会費体系や会員枠についても丁寧に議論を重ねます。

◇地方自治体との連携という課題
「市区町村の教育行政に、国公幼の存在と役割をいかに理解していただくか」は、すべての理事が共通して抱える課題です。日々の実践と地域への働きかけを積み重ねてまいります。

◇質の向上に向けた新たな試み
本会では、新たな試みとして、会員向け講演会を企画しております。「これからの幼児教育」について語り合う初の場であり、「みんなの国公幼」としての質を深めます。初年度は定員百名での実施を予定しております。

◇教育政策の動向と国公幼の発信
中央教育審議会では、次期幼稚園教育要領に向けた議論が活発化し、「幼児教育ワーキンググループ」「幼稚園教諭養成部会」も立ち上がりました。本会もヒアリングの機会を得て、国公幼の果たしてきた役割と可能性について強く訴えてまいりました。

その際の提出資料は十一月の都道府県会長代表者会でも配布いたしました。各園での対話や施策提案の際に、どうか積極的にご活用ください。

◇PTAとの連携と地域からの信頼
全幼P（全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会）との連携は重要です。国公立園が「幼児教育・保育」を次世代につなげていくためにも、園長ご自身から加入が可能です。ぜひご検討ください。

◇賛助会員様への御礼
多大なご支援をいただきまして厚く御礼申し上げます。

◇結びに
変化の時代にあっても、子どもたちの輝く笑顔がかわりません。これからも「質の高い幼児教育」を胸に、「みんなの国公幼」は一步ずつ、皆様と共に歩み続けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願申し上げます。